

スギ、ヒノキ樹皮の鉄処理培地を利用したイチゴ高設栽培

農業試験場

[研究のねらい]

イチゴ高設栽培の低コスト化のために、未利用資源である新鮮なスギ、ヒノキ樹皮粉碎繊維（以下樹皮）の培地としての利用が有効と考えられます。しかし、新鮮な樹皮では生育阻害が発生するため、鉄処理による生育阻害回避効果を検討し、樹皮のイチゴ高設栽培への活用を図ります。

[研究の成果]

- ①スギ、ヒノキともに新鮮な樹皮培地では、イチゴの生育や収量が、ピートモスに比べて劣ります（図）。
- ②硫酸第一鉄500倍水溶液10Lに対して新鮮な樹皮40Lの比率で、30～60分浸漬した鉄処理培地では、イチゴの生育や収量が、新鮮な樹皮培地に比べて優れ、1年野外放置した樹皮培地やピートモス培地とほぼ同等となります（図）。
- ③イチゴ高設栽培の培地資材費は、鉄処理樹皮がピートモスに比べて、約1/4になります（表）。

[成果の活用面・留意点]

スギ、ヒノキ樹皮は、ピートモスに比べて繊維が荒いため、大きな孔隙が多く、培地の表面が乾燥しやすいため、培地の水分管理に注意する必要があります。

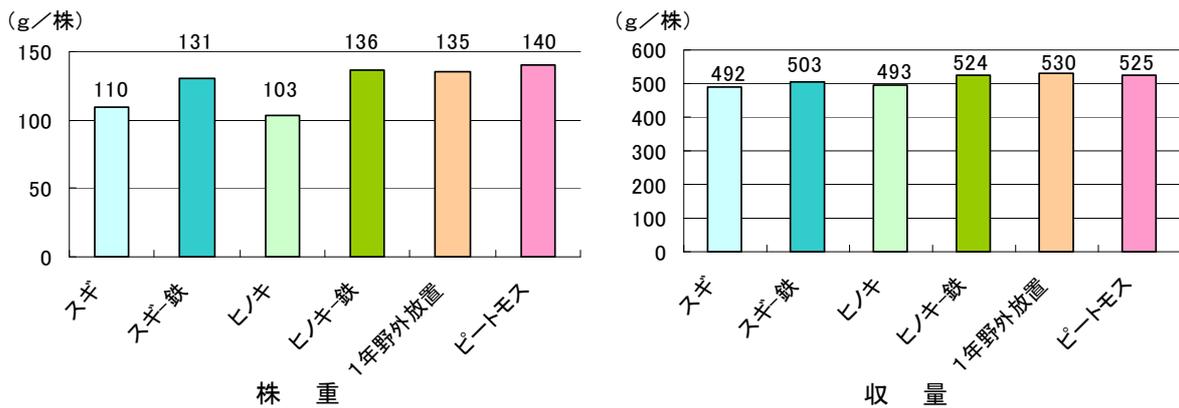


図 樹皮培地の鉄処理が高設栽培イチゴの株重及び収量に及ぼす影響

注) 株重調査日：6月7日、収穫期間：12月15日～5月29日、
 スギ：新鮮スギ樹皮、スギ-鉄：新鮮スギ樹皮を硫酸第一鉄500倍水溶液に浸漬
 ヒノキ：新鮮ヒノキ樹皮、ヒノキ-鉄：新鮮ヒノキ樹皮を硫酸第一鉄500倍水溶液に浸漬
 1年野外放置：スギ、ヒノキ混合樹皮(7:3)を1年間野外に放置、ピートモス：市販カナダ産ピートモス

表 イチゴ高設栽培における培地資材費のコスト試算(10a当たり)

資材名	単価	数量	鉄資材単価	鉄資材量	合計金額
ピートモス	3,159円/袋	100袋	-	-	315,900円
鉄処理樹皮	2,100円/袋	25袋	945円/500g	12,500g	76,125円

注) ピートモス：圧縮170L/袋、樹皮粉碎繊維：1,000L/袋
 ピートモス単価は、苦土石灰費を含む。
 鉄処理樹皮：龍神村森林組合排出スギ、ヒノキ新鮮樹皮+鉄資材（硫酸第一鉄：1級試薬）

(問い合わせ先TEL：0736-64-2300)